

ひと・まち・自然

トラまち Press (一財) 世田谷トラストまちづくり情報誌

February 2024



Vol. 22

特集

ふらりと、
訪れたい場所

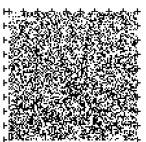
ひとと、
建物と、
みどりが
織りなす空間

P7

ふらりと、訪れたい場所
～まちには「秘密」がいっぱい～
石神 隆さん

P9

トラまち活動のひとコマ
“地域共生のいえ”試行支援中
「いづかさんち」



上の「音声コード」に、本誌の概要を記録してあります。
専用の読み上げ装置を使用して、音声で内容を聞き取ることができます。

写真：4月、新緑の頃の旧猪股邸(成城五丁目猪股庭園)

特集 ふらりと、訪れたい場所

ひとと、
建物と、
みどりが織りなす空間



旧猪股邸 (撮影12月)



旧山田邸 (撮影4月)



旧小坂邸 (撮影12月)



■旧小坂邸(瀬田四丁目旧小坂緑地)

瀬田4-41-21 ☎03-3709-5471

東急バス・小田急バス(二子玉川駅～成城学園前駅)

「吉沢」下車 徒歩8分

東急バス(千歳船橋～田園調布駅)

「玉川病院入口」下車徒歩7分

東急バス(二子玉川駅～成育医療研究センター)

「玉川病院」下車 徒歩1分

■旧猪股邸(成城五丁目猪股庭園)

成城5-12-19 ☎03-3789-6111

小田急線「成城学園前」駅下車

北口または西口徒歩5分

■旧山田邸(成城みつ池緑地・旧山田家住宅)

成城4-20-25 ☎03-3789-6111

小田急線「成城学園前」駅下車

北口または西口徒歩7分



住宅建築は、建築物としての価値に加え、人が生活を営んできた記憶が宿る場所という魅力もある。

今号では、瀬田の旧小坂邸、成城の旧猪股邸、旧山田邸の魅力について、ひと解いていく。

ここで紹介する場所は、だれでも訪れ見学することができる。細かく観察していくほどに、実際に人が生活していた頃の様子を想像しやすいところが面白い。また、当時の暮らしに想いを馳せるヒントとして、駐在するスタッフやボランティアの解説、関わる団体のイベント情報なども見逃さない。

(一財)世田谷トラストまちづくり

(以下「財団」)では、歴史的に貴重な建築と庭園を、世田谷区や地域団体、ボランティアと協働し、管理・保全公開業務を行っている。

それぞれに特色のある空間。ふとした時間に、ぜひ、ふらりと訪れて、その魅力にふれていただきたい。



美しく描く動線と、
計算された視線

敷地面積：1861.7㎡
延床面積：371.0㎡
建築年代：昭和42年（1967年）
設計：吉田五十八研究室
施工：水澤工務店[主屋]、丸富工務店[茶室]
公開：平成11年（1999年）

冬の風物詩「松の雪吊り」
期間：12月上旬から3月上旬



瀬田地域に残る、
唯一の別邸建築

敷地面積：9466.25㎡
延床面積：377.5㎡
建築年代：上棟 昭和12年（1937年）
設計：清水組
施工：清水組
公開：平成10年（1998年）

※平成11年（1999年）、「旧小坂家住宅」として世田谷区指定有形文化財に指定

好評の「雛かざりの展示」
期間：2月上旬から3月上旬

旧小坂邸

戦前戦後を通じて、実業家・政治家として活躍した小坂順造氏の別邸。

玄関をくぐれば、古民家風の土間に、和小屋組の梁が出迎えてくれる。やわらかな陽ざしが入る入側には、10メートルの一本ものの京都北山杉の磨き丸太の縁桁。日向ぼっこをしながら、その下でおやつを食べながら寛げるのも、住宅建築ならではの。重厚な佇まいの中にも、どこか優しさが漂う。

他にも、女中室の外の壁に設えられた呼び鈴、個室の電話室、カントリースタイルの書斎、茶室など、細部まで凝った意匠に、つい時間忘れて見入ってしまう。そんな、この空間を愛してやまないひとたちがいる。2011年から解説活動をしている「世田谷トラストまちづくり大学同窓会」のメンバーだ。彼らの解説は、「見学」を超え、やがて想像力を働かせた「体験」を与えてくれる。

国分寺崖線の斜面を利用した回遊式庭園には、湧水も流れる。地域団体の「せたがや水辺デザインネットワーク」のメンバーが、区とともに緑地の管理に携わっている。利活用企画「せたよんフィールドミュージアム」では、地域と連携したコンサートや読み聞かせ、活け花や野点など、多彩な催しが好評だ。

旧猪股邸

閑静な住宅街の一角に、生垣に囲まれた、武家屋敷風の趣がある数奇屋造りの建物。邸内にはアカマツやウメ、スギゴケを植え、水路を配した回遊式の日本庭園が見事に調和している。

ここは、(財)労務行政研究所理事長であった猪股猛氏ご夫婦の邸宅として、建築家の吉田五十八氏設計により建てられた。その後、猛氏のご長男・靖氏から、この邸宅を「貴重な文化財として、末永く残したい」との意向から、平成8年（1996年）に財団法人せたがやトラスト協会（現財団）と、保全協定地契約を締結し、平成10年（1998年）、世田谷区に寄贈。翌年、財団の管理運営により、公開がスタートした。

全体的に質素で、無駄がない印象。そこには、和式と洋式を融合させ、余計なものを取り除き、美しさを追求した施主と設計者の想いが体感できる。各部屋には、吉田五十八流の近代数奇屋といわれるデザインが数多く施されており、ここで解説活動をする「猪股庭園解説ボランティア」の話にも熱が入る。
一人で回っていたら、うっかり見落としてしまいそうな意匠や、計算された配置の話に、思わず感嘆の声が上がる。



▲スギゴケ



▲和室から書斎を望む



▲ボランティアによる解説イベント「猪股は奥深い」



▲利活用企画「風のコンサート」の様子



▲世田谷トラストまちづくり大学同窓会のメンバー

みんなの声

財団情報誌のWEBアンケートに寄せられたコメントを、ほんの一部ですがご紹介します。

活動の様子がコンパクトにレポートされていて、大変読みやすいです。学び、繋ぐ、育むの3つのキーワードで整理されているのも、いいと思います。〔60代 石川県〕

活動の様子や情報を簡潔に伝える内容で、関心が持てる構成なのがとても良いです。次号も楽しみにしています。〔40代 世田谷区奥沢〕

世田谷トラストまちづくりの活動が何なのか興味を持ちました。60歳を迎え家族だけでなく、生まれ育った世田谷に貢献したい、もっと知りたい気持ちになりました。〔60代 世田谷区砧〕

これからもいろいろなイベントを楽しみにしています。〔60代 世田谷区等々力〕

これからも、地域の情報発信をお願いします。〔60代 世田谷区岡本〕

他区にない取り組み、いつもワクワクして見えます。〔80代 中野区〕

“トラまち”ってなにしてる？

私たちは
世田谷の豊かな環境を
次世代へとつなぐ団体です

トラまち会員
募集中！



期間中、下記のお手続きをした方に 世田谷の野鳥を知ることができる、ミニ野鳥図鑑

「KEY BIRD 70」をプレゼント！

新規入会



- 賛助会員に入会した方（個人・家族）
- 家族会員は、会費を **1,000** 円割引
 - 有効期限を次年度末まで延長



令和5年
リニューアル版
をお届け！

3年会員 1→3

3年会員に変更した方

自動更新



自動引落をお申し込みの方

クレジット払い



クレジットカードでの
お支払いをお申し込みの方



会員の種類

個人賛助会員

- 会費 1年会員 1口 1,000 円
3年会員 1口 3,000 円
- 対象 個人

家族賛助会員

- 会費 1年会員 1口 2,000 円
3年会員 1口 6,000 円
- 対象 本人及び同居されているご家族

キャンペーン期間中に
個人から家族へ変更の
方は、**1,000** 円割引

客人を招き入れるための、
工夫と心遣い

敷地面積：967.77㎡
延床面積：350.93㎡
建築年代：昭和12年頃（1937年）
設計：不明
施工：不明
公開：平成29年（2017年）
※平成28年（2016年）、「旧山田家住宅」として世田谷区指定有形文化財に指定

旧山田邸

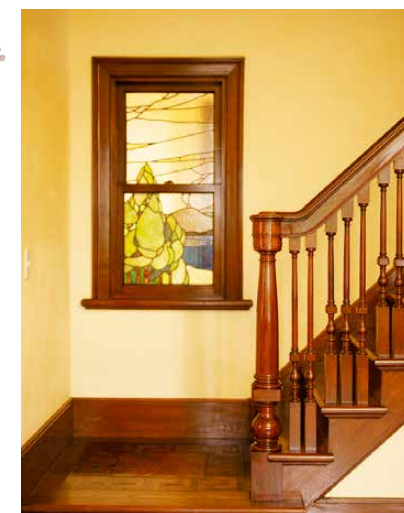
世田谷で、貴重な自然環境が残されている、神明の森みつ池特別保護区。旧山田邸は、その緑地の一部として公開している洋風住宅。この辺りは大正末から、成城学園が開発分譲した学園町としても名高い。

建築主は、アメリカで事業を成功させた実業家の橋崎定吉氏。終戦後一時、進駐軍に接収されたのち、昭和36年（1961年）に、画家の山田盛隆氏（雅号・耕雨）が住まいとして購入した。

この住宅には、アメリカの住宅の影響が随所に見える。デザインを統一した洋風の上げ下げ窓、客人用と家人用のふたつの階段、2階に設けられたランドリーシューター、洋室ごとに異なる床の寄木細工の工夫など、見どころ満載である。居間から続くサニールーム風のポーチは、カフェコーナーとしても利用されている。ここでひと息つきながら、当時の様子に想いを馳せては。

「近代建築保全ボランティア」による建物解説の模索や、花壇管理等をはじめ、法人格成城自治会や地域団体とも連携。成城のまち歩きや、成城のみどり100年を語り合うサロンを開催するなど、地域密着型の活用イベントを実施。魅力ある空間から、新たな物語が紡がれていく。

どうぞ気軽に
お立ち寄り
ください！



▲樹木を眺めながら、ひと息

◀家人用階段のステンドグラスは
建築当初からのもの

※カフェ時間は
12時30分～午後3時
（L.O. 午後2時30分）

ふらりと、訪れたい場所

「まちには『秘密』がいっぱい」

石神 隆

カニとタヌキ

世田谷区内の国分寺崖線の辺りは、湧水もあり不思議な空間です。タヌキも時々見かけますが、私の歩く秘密の場所には、大きなカニが棲んでいます。体長15センチのモクズガニで、懐かないはずの甲殻類が、何故か私の姿を見るといつも愛らしく手(脚)を振ってくれます。

ついつい、彼の眼には風景がどう映っているのか考えてしまいます。人の眼で地域を歩くのもいいのですが、カニの眼、あるいはタヌキの眼になって崖線の空間を歩くのもおもしろいものです。彼らの頭の中にはどんな地図が描かれているのでしょうか。カニにはカニの道が、タヌキには彼らしか知らない道がきつとあるはずです。



▲写真上：手(脚)を振るモクズガニ
写真下：タヌキとハクビシンの足跡

アボリジニの地図

ヒトの頭の中にもいろいろな地図があるようです。オーストラリアのアボリジニ(原住民)の地図は、ほぼ全てが物語でできているようです。「このあたりで祭りが行われた。祭りに北から来た先住民が岩になって立っている」等々。私たちも、実は、物語の空間の中に生きているのかも知れません。

例えば、子どもたちにとっては、友だちといつも通っている道、サヨナラをする曲がり角などが大事な空間でしょう。決して測量された地図の形が、必ずしもその人にとってのリアルな認識空間ではないのです。子どもだけでなく、大人こそ、様々な思い出の詰まった道や樹、家など自分の心にある特別な空間と共に生きているようです。

自分だけの秘密の空間

空間は自分が創るものと言えるかもしれませんが。人との出会い、一目見て好きになった樹、いい感じがした建物、人と話したり、樹に触ったり、建物を眺めたり、自分と環境との直接的なやりとりが、自らの空間を豊かに充実させていくのかと思われまます。決して市販の地図にはない、自分だけの秘密の空間は、実際に歩くなか自ずから形成されていくと言っても過言ではないようです。

ひとと、建物と、みどりが織りなす空間には、こんないろいろな秘密がどっさり隠されているのです。あらためてこの崖線沿いを、こっそりと歩いてみたくなってきました。

「木をみれば森がみえる」

また、国分寺崖線沿いには、市民緑地が数多くあります。定期的に市民のボランティアが手入れをしています。その方々こそ、自分のいとおしい緑を創っている、その木々が自分と絆を結び懐いているという、瑞々しい空間を自分の中に持っているに違いありません。ボランティアの方たちと同じように、ふらっと訪ねる私たち誰でも、一瞬にして同じような、場所と自分との深い関係性づくり、ができるはずですよ。

環境時代を生きるキーは、全てがつながっているという意識といわれています。このような全てが密につながっている世界においては、不思議な現象が起こるものです。「木をみて森をみず」という格言がありますが、自然の世界では、実は「木を(よく)みれば、森がみえる」ようです。難しい表現ではフラクタルの世界ともいわれます。これを行動的に捉えれば(一本の木を動かせば、森が動く)となるのが考えられます。いわゆるバタフライ効果です。一人ひとりの行動が、地域を、そして世界をも動かすという、新しい自分への認識かも知れません。



▲子どもたちと歩いて作った地元の地図
(テーマ「みんながさがそう成城の秋」)
青少年成城地区委員会「成城の風」より



石神 隆 (いしがみ たかし)
法政大学名誉教授、同大学エコ地域
デザイン研究センター客員研究員
法人格成城自治会副会長・環境部長

1947年生まれ。出身大学院では一般システム論を専攻、政府系開発機関を経て97年より法政大学人間環境学部創設に参加、地域環境を人間活動と一体不離の立場から調査研究。肌で地域を感じ考えるため国内外でのフィールドスタディを率先して実践、学生には「汗の臭いのする、脚で考える研究」を推奨してきた。自身、時間をかけ脚で書いた英国の地域史『水都プリストル』や、度々訪れ汗を流しつつ考えた中国の沙漠環境についての著書論文等がある。現在地元では、歴史を踏まえた生活目線の地域づくりを住民と学んでいる。

地域共生のいえ専門家から、応援メッセージ！

格子戸をあけると懐かしい木の香り。13年の年月を経ても無垢の木はまだ息づいている。このわずか70～80年間にすっかり様変わりしてしまった住まいの在りようはどうだ。同時に世界に誇る木の匠の技も急速に失われている。忙しい日々のなかで、失ってはいけないものを失くしてみても初めてその価値に気付かされる、そんなお住まいが「いいづかさんち」。ここに来ると、なぜかふっと肩の力が抜けて、気兼ねなくお話しが弾む、そんな場の力を感じる。

この力を借りながら、四季折々の季節の味わいとともに、優しい時間を過ごせる心のオアシスへ…あなたも是非お越しください。



井上 文 (NPO法人SAHS)
地域共生のいえ専門家/一級建築士



※「地域共生のいえ」とは、世田谷区内のオーナーが自己所有の建物を活用して主体的に行う、営利を目的としない公益的なまちづくり活動とその拠点です。

構想支援 ▶ 試行支援 ▶ 開設支援

いいづかさんちは、いまこの段階！
詳しくは、こちらからどうぞ ⇨



いいづかさんち インフォメーション

所在地：世田谷区八幡山3-22-32

京王線「八幡山駅」より徒歩5分

開館日：毎月第2水曜日

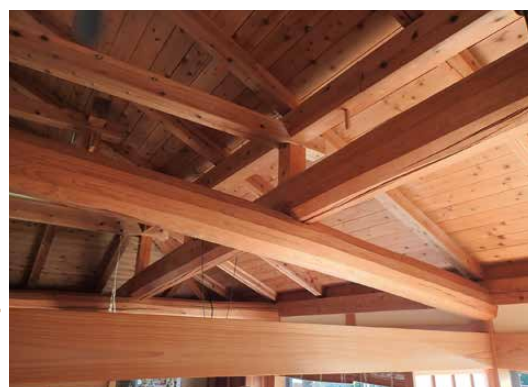
第1部＝13～14時(無料)

第2部＝14～16時(お茶代として150円)

電話：03-6750-5840(飯塚)

目標が定まったらとにかく自分で考え、行動に移していく飯塚さん。その実行力が人と繋がり、今こうして、ふらりと訪れたくなる空間になっています。

現在、財団担当者と活用方法を検討中。お世話になっているお医者さんに頼んで講演会をするなど、「いいづかさんち」から繋がるご縁に、期待が広がります。



●見上げた先には、立派な梁

釘を一切使わない、伝統的な木組み。棟梁の技が、随所に見とれます。

5

●ぜひどうぞ、ふらりとお立ち寄りください

普段からお休み処として、地域の方に座って頂いている栗材の小さなイス。いいづかさんちの試み、これからの展開もお楽しみに！



こちらは
壁塗り職人さん作

八幡山の住宅街に佇む、古民家づくりの家「いいづかさんち」。

国産の無垢材を使い、昔ながらの伝統構法で建てられた家です。ササ竹の生垣に囲われたお庭からは、心地よい風が家の中を吹き抜けます。そこでお茶をのみながら、飯塚さんのお話を伺いました。

これまで、飯塚さんご夫婦は社宅住まい。旦那さんの定年を期に、相続した土地に、家を建てることになりました。住まいの次に頭に浮かんでくるのは、老いて新たな地に暮らすことの不安でした。

二人とも、社交的ではなく内弁慶。何もしないでいたら、孤立した高齢者世帯となってしまう。といって、積極的に外に出ていくのは苦手。家の施工前から、そんな思いを抱えての、暗中模索の日々。

そんな中、庭仕事をしていると、通りがかりの人に「いい家ですねえ」と声を掛けられることが時折ありました。見知らぬ方々からの声かけにあれて、この家には、何か懐かしさを感じさせるものがあるらしいと気付いたそうです。「それが、この家を活用して何かできるのではないかと」思う私の背中を押してくれたような気がする。そして「自分たちの事を考えての結果が、人様に喜んでもらえるなら、嬉しい限り」と。



3

取材中も、次々にお客さんがいらっしました



●「落ち着くわねえ」

家が建つ経過を、旦那さんがカメラに収めたアルバム。午後の柔らかな光の中、話が弾みます。時には、ヘルマン・ハープが奏でる音色も。

トラまち活動の
ひとコマ

“地域共生のいえ”試行支援中「いいづかさんち」

2023年6月から、「いいづかさんち」は財団の制度を活用して、地域共生のいえ*への登録をめざした取り組みを進めています。今回は「家を取り持つご縁」の物語。

●みなさんをお迎えする準備

日頃から整理整頓、キレイ好きな飯塚さん。道行く人が、お店と思って訪ねてくることも。

1

2



●毎月第2水曜日、この看板が目印

13時から開かれる「和のなごみ」の時間。古民家づくりの家に興味のある方なら、どなたでもどうぞ。14時からは「介護者のえんがわ」の時間。家族を介護されている方に、ほっと一息ついてもらえればと。

新しいキーバードは、
世田谷区の鳥“オナガ”が目印！

SETAGAYA KEY BIRD 70 (改訂版)

定 価 300円
会員価格 200円

好評発売中！

世田谷区内で見られる鳥たちに特化した “ミニ野鳥図鑑”

大きな図鑑では、掲載されている数が多すぎて、野鳥の特定に迷ってしまう人もいるのでは。そんな時に役立つのが、このミニ野鳥図鑑。

区内で観察できる身近な野鳥70種に厳選し、初心者にもわかりやすい絵で気軽に楽しめます。

ポケットに入れて、ぜひ散歩のお供にどうぞ。

●サイズ：107×195mm 全24ページ

世田谷の自然を知る70のキーバード
ミニ野鳥図鑑

SETAGAYA KEY BIRD 70



付録の野鳥シールを貼って、オリジナル野鳥図鑑をつくらう！

一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

財団で活動している
野鳥ボランティアの調査データを基に、
これまでの66種の掲載から、
70種に再編集しました。
付録のシールを貼って、
自分だけの図鑑にカスタマイズも！



ひと・まち・自然
WEB アンケート
実施中！

回答期限：2024年5月7日(火)

WEBアンケートにご協力いただいた方に、
オリジナルクリアファイルをプレゼント！

より魅力のある情報を発信するため、
ぜひ、読者の皆様方のご意見や感想をお聞かせください。

当財団にお寄せいただいた個人情報は、財団からのプレゼント発送のために利用します。取得した個人情報は、法令に基づく場合または本人の同意がある場合を除いて第三者に提供することはありません。また委託する際は、利用目的の範囲内で適法にこれを行います。開示請求等の場合は、個人情報保護管理者：管理課長（電話：03-6379-4300）までお問い合わせください。



一般財団法人 世田谷トラストまちづくり
SETAGAYA TRUST & COMMUNITY DESIGN

2024年2月発行
〒156-0043 世田谷区松原6-3-5
Tel 03-6379-4300(代表)
Fax 03-6379-4233



【財団ホームページ】
世田谷トラストまちづくり
<https://www.setagayatm.or.jp/>

Facebook



X(Twitter)



Instagram

